

令和8年産 麦作情報 (Vol.5)

令和8年5月22日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/



今後のポイント: 適期刈取、適切な乾燥・調製、赤かび病対策

1. 4月以降の気象経過(図1)

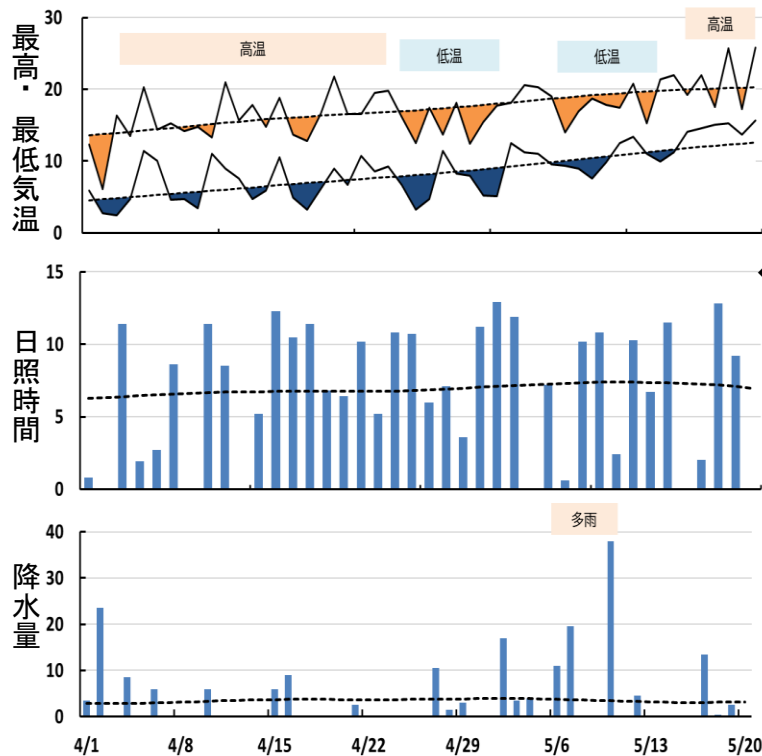


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量、点線は平年値

◆ 4月以降の気象概況

- 4月の気温は上中旬に高くなりましたが、下旬は低く推移しました。日照時間は平年並みかやや少照、降水量は上旬が多く、全体では平年並みで経過しました。
- 5月上旬は気温が低く、中旬に高く推移しました。上旬に降雨が多かったため、日照時間は少照、降水量は多く経過しました。

◆ 一か月予報5/23~6/12 ※5/22時点

<向こう一か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】	10	40	50
【降水量】	30	30	40
【日照時間】	40	30	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

1週目	10	30	60
2週目	20	40	40
3~4週目	10	40	50

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

2. 生育調査ほの生育状況と生育ステージ(5月20日現在、表1)

- ◆ 大麦の出穂期は平年よりシュンライで14日、ミノリムギで4日遅くなりました。
- ◆ 小麦(シラネコムギ)の出穂期は2日遅くなりました。
- ◆ 稈長はホワイトファイバーを除き大麦、小麦ともに平年より短くなりました。
- ◆ 穂長はホワイトファイバーを除き大麦、小麦ともに平年より長くなりました。
- ◆ 穂数はホワイトファイバーを除き大麦、小麦ともに平年より少なくなりました。

表1 生育調査ほの生育状況と生育ステージ

品種	調査ほ(旧市町)	播種日(月/日)			減数分裂期(月/日)			出穂期(月/日)			成熟期								
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本)		
											本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比
シュンライ	給人町(桃生)	11/18	+25	+37	4/28	+12	+16	5/5	+10	+14	77.1	82%	86%	4.8	114%	109%	350	66%	57%
ミノリムギ	高須賀(桃生)	10/25	+5	+7	4/20	+2	+1	5/2	+2	+4	88.3	81%	87%	5.4	117%	117%	458	67%	81%
ホワイトファイバー	真野(石巻)	10/30	-	-	4/14	-	-	4/24	-	-	77.2	-	-	5.6	-	-	320	-	-
	大曲(矢本)	11/11	-	-	4/15	-	-	4/25	-	-	93.4	-	-	5.2	-	-	525	-	-
シラネコムギ	太田(桃生)	10/31	-1	+4	4/26	0	+1	5/7	0	+2	79.4	89%	93%	8.5	108%	106%	412	90%	81%

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 成熟期調査は5/20の結果

※ ホワイトファイバーは今年度から調査を開始したほ場のため、前年・平年データ無し。

3. 今後の管理

(1) 適期刈り取り：ほ場をよく観察し、成熟期を把握しましょう。

- ◆ 麦類の成熟期及び収穫適期の目安は下図のとおりです。
- ◆ 早刈りは登熟不足や空洞麦発生による子実重、品質低下、刈り遅れは収穫ロスや発芽粒、退色粒の発生、大麦の白度低下に伴う品質低下、小麦のフォーリングナンバー(※)低下の主な原因となるので注意しましょう！
- ◆ 「夏黄金」の収穫適期は成熟期後7日以内です。刈り遅れによる品質低下を避けるため、遅くとも成熟期後 10 日までに収穫しましょう。
- ◆ 令和8年産麦類は穂数が少ないことや、今後1か月は高温で推移すると予報されていることから、成熟期や収穫適期が目安の日数から早まる可能性もあります。こまめにほ場を観察して**適期刈り取り**に努めましょう。

※ 小麦粉中のデンプン粘度を表す数値で、穂発芽した麦は粒内のデンプンが分解され、値が低くなります。

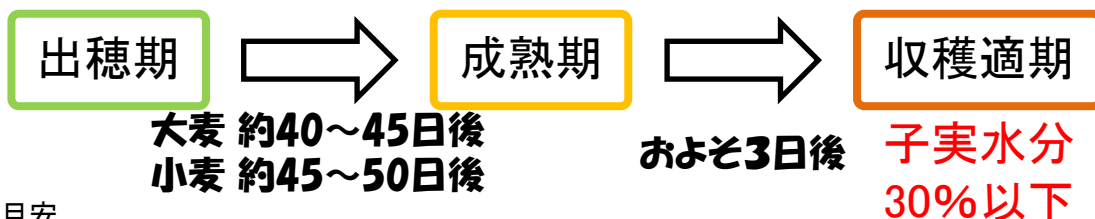


表2 成熟期の目安

品種	調査ほ (旧市町)	出穂期		成熟期		(参考)成熟期の目安		
		(月/日)	平年差 (日)	前年値 (日)	平年値 (日)	40日後	45日後	50日後
シュンライ	給人町 (桃生)	5/05	+14	6/9	6/2	6/14	6/19	
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	5/02	+4	6/12	6/9	6/11	6/16	
ホワイトファイバー	真野 (石巻)	4/24	—	—	—	6/3	6/8	
	大曲 (矢本)	4/25	—	—	—	6/4	6/9	
シラネコムギ	太田 (桃生)	5/07	+2	6/23	6/23		6/21	6/26

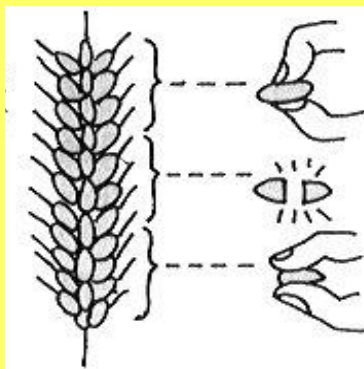
＜成熟期を判断する目安＞

- 外観の色 茎葉、穂首が黄色くなった頃
- 子実の色 大麦▷黄白色 小麦▷褐色
- 子実の硬さ 指で押さえて乳汁がでないロウ状の硬さ

大麦の成熟期判定

穂軸、茎葉が黄化し、
粒は弾力がなく
ロウ状の硬さ

☆この時期の穀粒水分はかなり幅があり、およそ32～45%です。平均穀粒水分30～35%を中心にばらつきが大きい傾向にあります。



爪で押さえても
つぶれない

ポツン

少しつぶれる

刈り取り時の注意点

- ◆ 子実水分が**30%以下(成熟期後3日頃)**で刈り取りましょう。成熟期前後の麦は、穀粒水分のばらつきが大きい傾向があります。ばらつきが大きいと、乾燥効率の低下や乾燥機内での外観品質低下(外皮退色)などを招くことになるので、30%以下での収穫を心がけましょう。
- ◆ 成熟期以降の麦は**晴天下では急激に乾燥が進みます**。小麦は降雨後子実水分が上がっても乾きが早く、1日に5%も低下することがあります。一方、大麦は外皮があるため降雨後の水分低下が遅く、降雨の影響が大きくなります。

<子実水分が高いときのポイント>

point!

●刈り取りを急がない

子実水分が高い状態で刈り取った場合、コンバインの扱胴回転数が高いと損傷粒が生じます。
作業速度を遅くしたり、刈り取り条数を減らしたりして収穫しましょう。

point!

**●刈り取った麦を積まない
放っておかない**

刈り取った麦を積み重ねて放置すると、短時間で穀温が上昇して変質するので、刈り取り後は速やかに乾燥しましょう。

(2)適切な乾燥・調製

- ◆ 子実水分をこまめに確認しながら、送風温度に注意して、品質低下を防ぎましょう。

刈り取り

- 子実水分 30%以下

↓ 速やかに

乾燥

- 送風温度
50~60℃ (穀温40℃以下)
- 仕上げ水分
大麦 12%以下
小麦 11%以下

↓

選別

唐箕選等でゴミを除き、
ライスグレーダーで選別

- point!
- **乾燥を急がない**

子実の初期水分が高いほど、高温で急速に乾燥すると熱損粒が発生しやすく、特に小麦で品質が著しく低下します。
子実水分が30%以下になるまでは、送風温度を40℃程度の低めに設定し、張り込み量を6~7割程度にしましょう。

- point!
- 事前にJAの下見指導を受けて適切な網目を使用しましょう!
※網目によって等級が変わる場合があります

(3)赤かび病対策：赤かび病防除、選別等により、かび毒汚染の防止、低減を図りましょう

2023年、一部の国内産小麦から基準値を肥えるDON(*)が検出されました。

倒伏、早刈り、収穫後の放置等により赤かび菌が増殖する可能性があります。

(*) DON・・・デオキシニバレノール 赤かび病の病原菌から算出されるかび毒

point!

被害の特徴と診断のポイント

乳熟期ころから穂に発生します。小穂が点々と褐色になり、一部または全部を褐変枯死させます。枯れた穎の合わせ目に沿って桃色のカビ(分生子塊)を生じ、罹病部が古くなると黒色の小粒(子のう殻)を生じることもあります。発病は穂が主体ですが、茎、葉身、幼苗などにも発生します。発病が甚だしいときには60%以上減収することもあります。小麦では、被害粒は白変し、しわ粒になります。



発病穂(大麦)



発病穂(小麦)



分生子塊(矢印)



被害粒(小麦)

宮城県病害虫防除所ホームページ 病害虫ライブラリー『赤かび病』より

【対策】

- ◆ **適期防除**：防除適期に降雨が多い場合であっても、短い晴れ間を利用するなどして、**確実に防除を実施しましょう**。赤かび病の防除は適期を逃さず行うことが重要です。防除適期は前号を参照してください。
- ◆ **適期刈り取り**：かび毒は早刈りすると高まることあるので、品質の面も含め適期刈り取りをしましょう。特に小麦は収穫時期が梅雨に重なり被害が助長されやすいので**適期播種・適期刈り取り**に努めましょう。
- ◆ **排水対策**：ほ場の土壌水分が高いと発生が助長されるので**排水対策**を講じましょう。
- ◆ **収穫した麦を放置しない**：収穫後、適切な水分まで乾燥する間に、赤かび病菌が増殖し、DON・NIVが産生される場合があります。このため、収穫した麦は可能な限り速やかに乾燥をする必要があります。**収穫した麦を長時間放置することは避け、通風などにより水分を低下させましょう。**
- ◆ **調製**：**粒厚選別**や**比重選別**も赤かび粒の除去に有効な手段です。赤かび病の被害粒は粒厚が薄くなったり比重が小さくなることが多いため、選別によりDON含有濃度の低減を図ることが可能です。

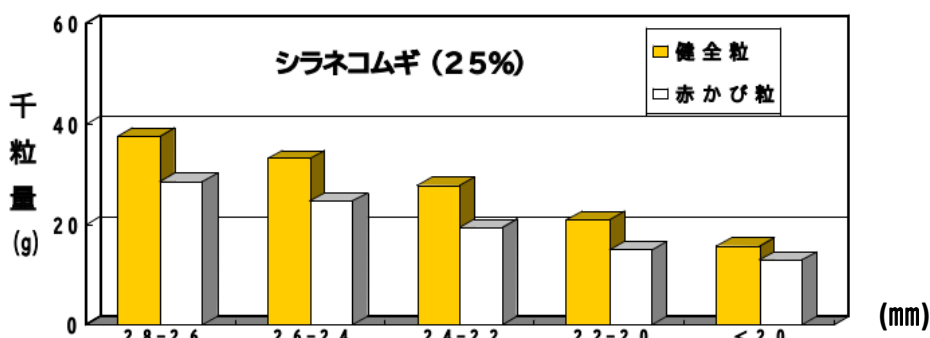


図2 健全粒および赤かび粒の粒厚別千粒重(古川農試 平17)
注()内の数字は出穂約40日後における発病率

赤かび病の被害粒は通常粒と同じ大きさでも軽めです。